

第 8 回美ヶ原トレイルラン in ながわ 大会概要報告書

1, 開催日 平成 30 年 6 月 30 日(土)

2, 参加者概要

クラス	エントリー	出走者	完走者	完走率
90km	80	70	24	34.3%
80km	690	629	311	49.4%
45km	406	372	358	96.2%
14km	291	264	258	97.7%
合 計	1,467	1,335	951	71.2%

3, 大会結果

クラス	制限時間	男子総合優勝	女子総合優勝
90km	16.5 時間	11 時間 3 分 54 秒	
80km	16 時間	8 時間 31 分 31 秒	10 時間 38 分 21 秒
45km	10 時間	3 時間 56 分 50 秒	5 時間 18 分 18 秒
14km	4 時間	1 時間 27 分 10 秒	2 時間 42 分 13 秒

4, スタッフ 長和町 146 名(公募ボランティア 15, 役場スタッフ 60, 協賛施設 37, 交通安全協会14, JA15, 丸子中央 HP5
大会運営会社(フィールズ社)約 95 名

5, 環境保護対策

H27年4月に環境省から示された「国立公園内におけるトレイルランニング大会等の取り扱いについて」に準じて、下記環境資源保護対策を行いました。

○コース内には保護すべき貴重な環境資源がある旨を、大会パンフレットに掲載し配布。またホームページ等で周知しました。

○開催地域以外から植物の種子等を持ち込ませないため、事前にシューズ

の靴底を洗うよう SNS での告知、及びスタートゲートに泥落とし用のマットを敷設。

○美ヶ原牧場内のアースハンモック保護のため、コース規制の実施。

6, モニタリング

[事前モニタリング]

日程	モニタリングルート	参加者
6月27日	・八島湿原～ゼブラ山～トレランコースを大門街道頂上へ～ 国定公園境まで	県諏訪地域振興局環境課担当者 大会運営委員
6月20日	・扉峠～美ヶ原～物見石山下 公園境 ・扉峠～和田峠	県上田地域振興局環境課担当者 大会運営委員

[事後モニタリング]

日程	モニタリングルート	参加者
7月11日	八島湿原～ゼブラ山～トレランコースを大門街道頂上へ～ 国定公園境まで	県諏訪地域振興局環境課担当者 大会運営委員
7月3日	・扉峠～美ヶ原～物見石山下 公園境 ・扉峠～和田峠	県上田地域振興局環境課担当者 大会運営委員

7, 総括

今大会も第8回を迎え、本コースが雄大で素晴らしい景観として知られる八ヶ岳中信高原国定公園を中心としたコース設定であること、また、標高差が他大会と比較し大きいため参加選手の評判も大変よく、全国の数ある大会の中でも参加選手の多い大きな大会となっている。

そのような中、第8回大会が開催されたが、今大会は90キロコースの新設という大きな変更点があった。

コース新設による大きなトラブルもなく、大会当日を含め大会前から比較的晴天が続いたことから、コース自体も荒れることなく自然環境に対しても特に問題はなかったと認識をしている。

今後も一般ハイカーや環境に注視した大会運営に努めていきたい。

第8回美ヶ原トレイルランinながわ大会開催による男女倉山階状土および美ヶ原牧場内アースハンモック等環境資源への影響調査報告

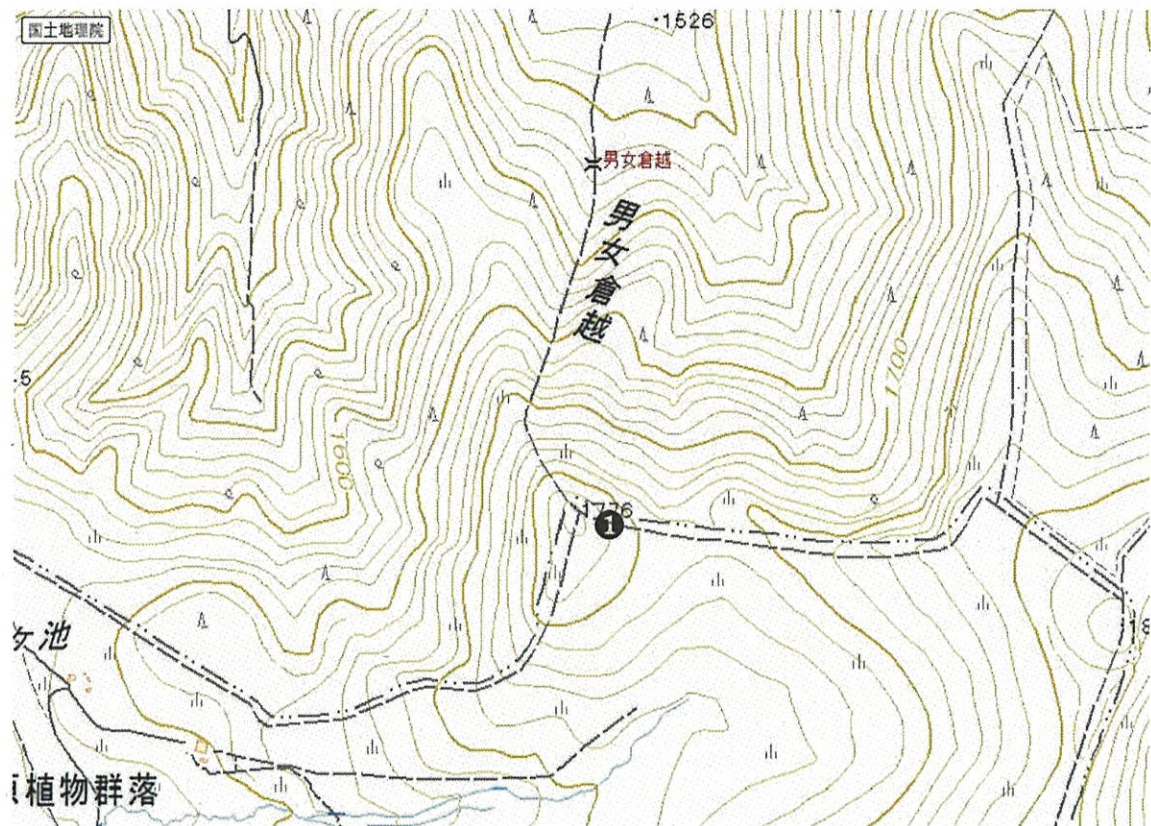
男女倉山（ゼブラ山）の階状土

① 平成30年6月27日（事前モニタリング）



平成30年7月11日（事後モニタリング）





男女倉山（ゼブラ山）山頂の東側約80mの地点で、定点観測を行いました。

斜度がきつく道幅も狭まっている箇所ですが、はみ出し、踏み荒らし等はありませんでした。

また、今第8回大会当日は天候にめぐまれ、地盤もしっかりしていたため、特に大会前との変化、影響等は認められませんでした。

周辺の階状土への影響も無かったものと思われます。

美ヶ原アースハンモック

① 平成 30 年 6 月 20 日 (事前モニタリング)



平成 30 年 7 月 3 日 (事後モニタリング)



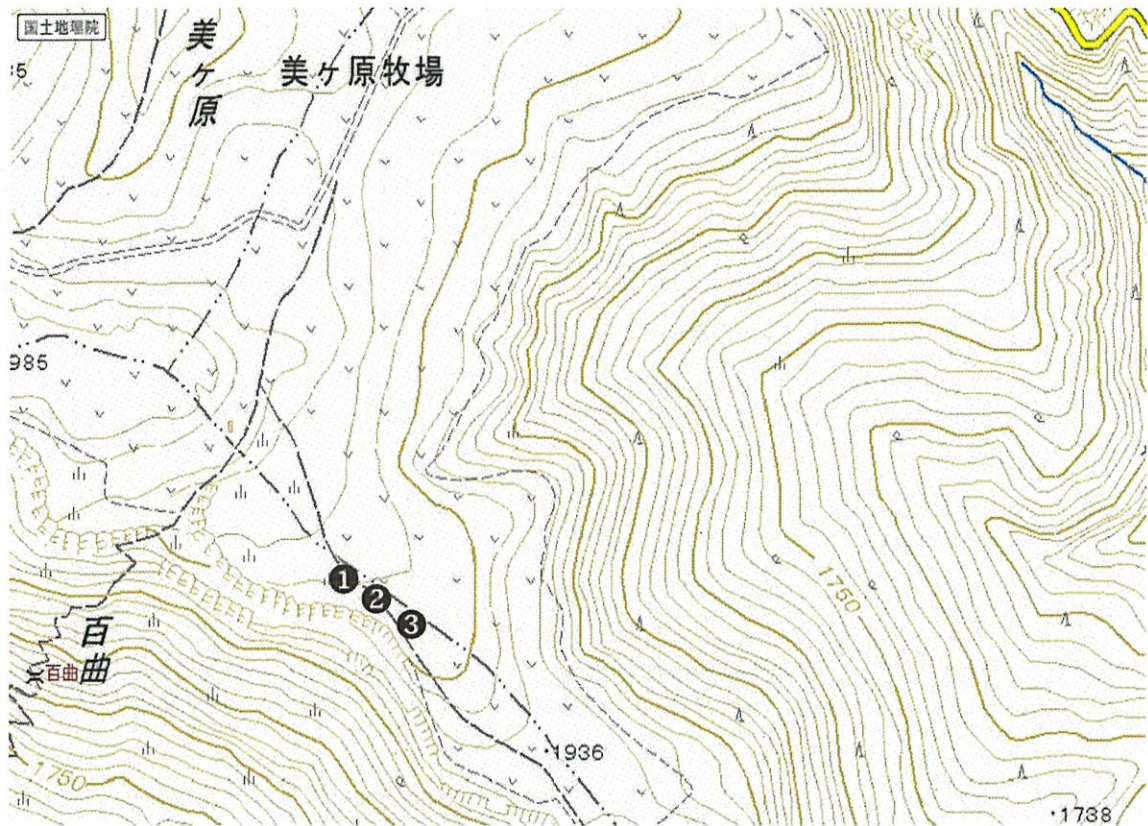
② 平成 30 年 6 月 20 日 (事前モニタリング)



③

平成 30 年 7 月 3 日 (事後モニタリング)





美ヶ原牧場塩くれ場南側遊歩道より茶臼山側へ約1000mの間で、環境資源内の歩道が狭隘となっている箇所について、ピンポールを立てテープにより、資源保護、コース規制を行いました。

また、特に歩道の狭い箇所3地点について、大会後定点観測を行いました。

その結果、歩道外へのはみ出しや踏み荒らし等の跡は見うけられず、アースハンモックなど環境資源への影響はなかったものと認められます。

また、大会でのこの区間は、環境資源保護の観点から歩行区間と定められており、走行が禁止されております。今大会は天候にもめぐまれたことから、地盤の泥弱等もありませんでした。

第9回大会からは、美ヶ原牧場からの要望もありこの牧場内の歩道は使用せず、牧柵の外側をコースとして使用する予定です。

第9回美ヶ原トレイルラン in ながわ大会概要

名称

本大会の名称を「第9回 美ヶ原トレイルラン in ながわ」と称して実施する。

開催日

2019年6月29日(土曜日) ※ 6月28日(金)前日受付・競技説明会

目的

長和町が平成22年開設した「霧ヶ峰・美ヶ原 中央分水嶺トレイル」の経済的利活用による観光資源としての価値の創造、及び地域・商工観光振興、宿泊施設の活性化を図ることを目的に社会的ニーズが高く、集客が見込まれる山岳スポーツであるトレイルラン競技を開催します。

運営組織

平成23年度第1回、24年度第2回大会は、長和町役場産業振興課の主管の基に開催しましたが、平成25年度より「美ヶ原トレイルラン in ながわ 大会実行委員会」のもとに、「運営委員会」を設けて実務的作業を実施する組織編成で大会を運営します。尚、大会の競技運営は(有)フィールズ社が担当します。

大会概要

90kmコースは、従来の80kmコースの美ヶ原台上手前茶臼山から松本市三城牧場方面へ下り、百曲、アルプス展望コース、八丁ダルミ、王ヶ鼻、王ヶ頭をへて美ヶ原台上塩くれ場に戻る約10kmが、80kmコースに追加されるものであります。

80kmコースは、長和町鷹山(ブランシュたかやまスキーリゾート)地区を本部として、霧ヶ峰、三峰山、茶臼山、美ヶ原高原を通過して和田宿、大門、長門牧場、女神湖、大門峠を経て中央分水嶺を通過して鷹山に戻る山岳地帯を走る競技です。

45kmコースはブランシュたかやまスキーリゾートから姫木地区をとおり、東沢林道を長門牧場へ向かい、中央分水嶺トレイル A ルートで鷹山に戻る周回コースです。

14kmコースは、ブランシュたかやまスキーリゾートからエコーバレースキー場・殿城山を周回するコースです。

1) 競技種目及び制限時間・募集人員

90km	制限時間 16 時間 30 分	150 名
80km	制限時間 16 時間	700 名
45km	制限時間 10 時間	500 名
14km	制限時間 4 時間	300 名

2) スケジュール及び内容

6月28日(金) 13:00～20:00 前日受付
16:00～17:00 選手ミーティング(競技説明会)
17:00～17:30 開会式

6月29日(土) 3:30 90kスタート (～20:00)
4:00 80kスタート (～20:00)
8:00 45kスタート (～18:00)
9:00 14k (～13:00)
14:00 表彰式

3) 競技守則

参加者には下記事項を守り競技することを注意喚起します。

- (1) ゴミをコース上に投げ捨てない。
- (2) 必要な装備品は必ず携帯する。
- (3) 競技規則を守り、審判及び指導員の指示に従う。
- (4) 自然環境保護・保全に反する行動はしない。
- (5) ハイカー、登山者を優先して競技を行う。
- (6) その他、トレイルランナーとしての自覚を持って参加する。

宿泊

本大会は、信州・長和町観光協会に加盟する宿泊施設の内、大会協賛宿泊施設が中心となり運営する競技大会です。大会参加者は競技参加費用とは別に大会運営に係わる費用の一部として大会協力金を納入いただくことが参加条件となります。大会協力金は大会協賛宿泊施設に宿泊の場合は宿泊費へ補填します。その他の宿泊施設を利用の場合、大会協力金は返還致しません。また、宿泊に関する細則は運営委員会宿泊部会の決定に依ります。

認可・申請・依頼

本大会の係わる競技コースの利用に関する公的機関への申請、認可手続き、または、私有地、私有施設等の利用依頼などの手続きは、長和町役場産業振興課および信州・長和町観光協会が窓口として大会実行委員会の職務の任に当たることとします。

大会役員

大会会長	羽田 健一郎	長和町町長
実行委員長	小林 和夫	観光協会長
運営委員長	森 達也	観光協会会員
競技運営	野々山 晴之	フィールズ社代表